

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

回収割合
100%

こども発達支援 ハート&ハート
集計日：2019年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	100%			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	第三による外部評価は行っていませんので、検討中です。
	⑧	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	100%			
適切な 支援の 提要	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	100%			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			100%	職員の退勤時間が異なるため、翌朝のミーティングの際に前日の確認と情報共有を行っています。退勤時に各自報告の徹底を行っていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			

適切な支援の提要	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100%			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		現在、対象児がいないので行っていません。しかし、対象児がいる場合には、各機関と連携を図っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		100%		障害のない子どもたちと活動する機会はなかなかないので、地域の交流などを通して機会を設けていきたいです。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		100%		職員がペアレント・トレーニング等の研修を受け、対応していきりたいと思います。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	100%			
	㉑	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%		保護者同士のつながりを持つ機会はなかなかないので、検討中です。
	㉓	子どもや保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	㉔	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもたちや保護者に対して発信しているか	100%			
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100%			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等、開かれた事業運営を図っているか		100%		まだそのようなことは行っていないため、検討中です。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			
	③⑨	非常時災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他に必要な訓練を行っているか	100%			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			100%	基本的に保護者の方を通じて情報を共有して対応しています。今後は、医師の指示書をいただくように徹底していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	100%			

工夫している点

- 保護者の方に、子どもたちの様子が分かりやすいように、連絡帳の記入や口頭での説明を丁寧に行っています。また、ホームページを通して、日頃の活動内容を発信しています。
- 個別支援計画は、保護者の方と面談を行い、ご意見やご要望を十分にくみ取った上で、日頃のお子様のご様子、方向性を考えながら作成しています。
- 療育活動は、1人1人の成長段階に合わせた内容を手厚く行っています。
- 児童クラブや児童館、障がいのない子どもたちとの活動については、公園（外遊び）、お買い物外出、社会科見学、地域のお祭りへの参加などを通して、たくさんの方たち（子どもを含む）に関わることができるようにしています。
- 保護者の方からのご相談や苦情については、すぐに伝えていただけるように“見える関係づくり”に力を入れています。
- 子どもや保護者の方との意思の疎通や情報伝達の配慮については、電話や連絡帳、送迎時の時間帯に行っていますが、ご面談を通して行うこともあります。
- 「緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知説明・されているか」については、保護者の方々に周知していただけるよう発信していきたいと思えます。
- 「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他に必要な訓練が行われているか」については、ハザードマップや緊急時の連絡先、手順を再確認し、周知していただけるように発信していきたいと思えます。